

(11/19) 第40回特別シンポジウムのご案内

ギガビット研究会では、アンテナ・高速回路・EMCの設計評価に関して、電磁界理論に基づく理解を目標に、各種課題のより深い理解、新しい知見・情報取得と併せ、新規研究テーマ探索も考慮した特別シンポジウムを開催しております。

今回の特別シンポジウムは、ギガビット研究会の客員教授をお願いしています秋田大学名誉教授の井上浩先生です。先生の長年にわたる研究の中から、前回にご講演いただいた電気節点の研究に加え、回路基板でのEMC問題についてのご講演です。基礎的なノイズ発生と伝搬のお話から、最近の差動励振線路での不要放射や基板上部に配置されたシールド材の効果などと、興味深い内容です。ご関心のある皆様、奮ってご参加ください。

【11/19(金)開催】ギガビット研究会 第40回特別シンポジウム

「電気接点とプリント基板周辺のEMC問題 –電磁ノイズに関係する研究を振り返る–」

日時 2021年11月19日(金) 13:30～15:00

方式 Zoomによるオンライン開催

プログラム

13:30～13:35	開会挨拶
13:35～14:55 (質疑含む)	『電気接点とプリント基板周辺のEMC問題 –電磁ノイズに関係する研究を振り返る–』 秋田大学 名誉教授/電気通信大学 客員教授 井上 浩 先生 本講演では講演者の手掛けた基礎的な研究についていくつか紹介する。EMC問題の解明にはノイズ源の特性を知ること、問題となるノイズの発生・伝播の特徴を知ることが必要と考え簡単なモデル実験から現象を明らかにすることをこころがけてきた。 ここでは、1) 開離する電気接点からの誘導ノイズの計測と、2) プリント基板周辺のノイズ問題、の2つについて述べる。ここで扱うプリント基板周辺とは、基板上の抵抗周辺の磁界測定、プリント基板上のスウィッチング素子からの電磁放射、ストリップラインの同相差動電流による不要電磁波放射、更に基板上に置かれた導体のシールド効果などの基礎的な現象を扱っている。起こりうるノイズ問題の基礎として参考になれば幸いである。
14:55～15:00	閉会挨拶

参加費 法人会員・特別会員は無料、法人准会員は28,600円(税込31,460円)

お申込み メールで、ギガビット研究会 gigabit@sangaku.uec.ac.jp までご連絡ください。
会員の種別によりお申し込み方法が異なりますのでご注意ください。

お申込み締切 2021年11月16日(火)

<法人会員>

1. 法人名（会社名）
 2. 所属
 3. 氏名
 4. Zoomの登録名
 5. メールアドレス
- 以上5点をご連絡ください。

<特別会員および研究室所属学生>

1. 氏名（学生の場合は、学生氏名と括弧書きの特別会員氏名）
 2. Zoomの登録名
 3. メールアドレス
- 以上3点をご連絡ください。

<法人准会員>

1. 法人名（会社名）
2. 所属
3. 氏名
4. Zoomの登録名
5. メールアドレス

以上5点をご連絡後、お手数ですが、参加申込書に必要事項を記入・捺印のうえご郵送（もしくはメール送信）をお願い致します。

お問い合わせ先

〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1

国立大学法人電気通信大学 産学官連携センター ギガビット研究会事務局

TEL : 042-443-5848 e-mail : gigabit@sangaku.uec.ac.jp